

問1 関東平野の台地に広がる関東ロームの層において、古くから稲作よりも野菜などの畑作が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。（2021年 静岡公立入試 類似）

1. 火山灰が堆積してできた土壌で、水はけが非常に良いため、水田に必要な水を溜めにくい。 2. 河川が運んだ泥でできた粘土質の土壌で、水持ちが良すぎて稲の根が腐りやすい。 3. 海岸近くの砂地が隆起した土壌で、塩分を多く含んでいるため稲の生育が妨げられる。 4. 有機物を多く含んだ黒い土壌で、地力が強すぎて稲の茎ばかりが成長してしまう。

問2 1880年の統計において、上野国（現在の群馬県）が全国の生産高の約22パーセントを占めて第1位となり、次いで信濃国（長野県）、武蔵国（埼玉県・東京府）が上位となっていた近代日本の主要な輸出製品は何ですか。また、その製品を海外へ送るために鉄道で運んだ先の港の名前として正しい組み合わせを選びなさい。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. 生糸 — 横浜港 2. 綿織物 — 横浜港 3. 生糸 — 神戸港 4. 綿織物 — 大阪港

問3 関東地方の北西部に位置する内陸県で、県庁所在地を前橋市に置く県はどこですか。この県は東京都から埼玉県を経て長野県へと向かう北陸新幹線の沿線にあり、交通の要所となっています。（2016年 静岡公立入試 類似）

1. 群馬県 2. 栃木県 3. 茨城県 4. 山梨県

問4 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の鉄道利用率が全国平均の23%を大きく上回り、40%から60%近くに達している統計結果があります。このような公共交通機関への依存度が高い地域において、大地震などの災害により鉄道が長時間停止した際、自宅が遠いために徒歩での帰宅が難しくなる人々を何と呼びますか。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 帰宅困難者 2. 避難指示対象者 3. 昼間人口減少者 4. 仮設住宅入居者

問5 都市の人口構造を示す「昼夜間人口比率（夜間人口を100とした時の昼間人口の割合）」について、東京23区のようにこの比率が100を大きく超える地域の特徴として、最も適切なものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 都市の中心部にオフィスや学校が集中しており、周辺地域から多くの人々を吸い寄せている。 2. 郊外に大規模なニュータウンが形成されており、夜間に多くの人が帰宅してくる居住機能が中心である。 3. 地価が安いいため、中心部に住居を構える世帯が多く、夜間人口が昼間人口を上回っている。 4. 周辺の県に比べて農地や工場が多いため、日中に周辺地域へ働きに出る人が多い。

問6 茨城県は野菜の農業産出額が1,700億円を超えるなど、全国でも有数の農業県です。東京都などの大消費地に近いという地理的条件を最大限に生かし、新鮮な野菜などを栽培して出荷する農業の形態を何といいますか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 抑制栽培 4. 企業的農業

問7 茨城県は全国トップクラスの農業生産を誇りますが、特に「はくさいやねぎ、ほうれんそう」といった鮮度が重視される野菜の生産が盛んです。このように、大消費地である首都圏の近くに位置し、高速道路などの交通網を利用して農産物を供給する農業の形態を何と呼びますか。（2026年 福島公立入試 類似）

1. 近郊農業 2. 高冷地農業 3. 促成栽培 4. 抑制栽培

問8 成田国際空港は、日本の航空貿易において非常に大きな役割を果たしています。2021年の統計において、この空港での輸出額の約9%を占めて第1位となっている品目と、輸入額の約16%を占めて第1位となっている品目の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 輸出：半導体等製造装置、輸入：医薬品 2. 輸出：自動車、輸入：原油 3. 輸出：鉄鋼、輸入：液化天然ガス 4. 輸出：衣類、輸入：魚介類

問9 日本の主要な港のうち、輸出額（約5兆8000億円）に比べて輸入額（約10兆5000億円）が極めて高く、輸入品目の上位に衣服、コンピュータ、魚介類などの消費財が並ぶ港として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2018年 愛知公立入試 類似）

1. 東京港 2. 名古屋港 3. 横浜港 4. 神戸港

答え合わせ・解説

問1	答え 1 火山灰が堆積してできた土壌で、水はけが非常に良いため、水田に必要な水を溜めにくい。	火山灰からなる関東ロームは粒子が細かく、透水性（水を通す性質）が非常に高いのが特徴です。そのため、地表に水を溜める必要がある稲作には不向きであり、代わりに排水の良さを活かした野菜栽培などの畑作や、果樹園、茶園として広く利用されてきました。
問2	答え 1 生糸 — 横浜港	明治時代の日本において、生糸は最大の輸出アイテムでした。統計にある通り、現在の群馬県にあたる上野国は全国一の生産量を誇る産地であり、内陸部で生産されたこれらの製品は、鉄道（現在の高崎線など）を利用して東京を経由し、当時の主要な輸出拠点であった横浜港へと運ばれました。選択肢にある綿織物は、明治初期にはまだ輸入が多かった製品です。
問3	答え 1 群馬県	関東地方には海に面していない「内陸県」がいくつか存在しますが、その中で最も北西に位置するのが群馬県です。東京都から見て、北側に位置する埼玉県のさらに北西に隣接しており、北陸新幹線や上越新幹線が通る高崎駅などを擁しています。また、県庁所在地は前橋市です。
問4	答え 1 帰宅困難者	東京圏では都心部にオフィスや学校が集中しており、周辺の県から鉄道を利用して通勤・通学する人が非常に多いという特徴があります。そのため、災害によって鉄道などの公共交通網が寸断されると、徒歩では帰宅できない距離にいる人々が大量に発生し、駅周辺の混雑やパニックが防災上の大きな課題となります。
問5	答え 1 都市の中心部にオフィスや学校が集中しており、周辺地域から多くの人々を吸い寄せている。	昼夜間人口比率が100を超える（昼間人口 > 夜間人口）ということは、その地域が仕事や教育の場としての機能を強く持っていることを意味します。東京23区や大阪市中心部などがその典型例です。一方、100を下回る（昼間人口 < 夜間人口）地域は、居住機能が強い「ベッドタウン（衛星都市）」としての性格が強いと判断できます。
問6	答え 1 近郊農業	茨城県は関東平野に位置し、首都圏という巨大な消費地に隣接しています。このように、大都市の周辺で、輸送費を抑えながら鮮度の高い農産物を供給する農業は近郊農業と呼ばれます。選択肢にある「促成栽培」や「抑制栽培」は、気候の特色を利用して出荷時期をずらす工夫を指すものであり、大都市への近さを直接的な利点とする形態とは区別されます。
問7	答え 1 近郊農業	大都市の周辺地域で、消費地までの距離が近いことを利点として行われる農業を近郊農業と呼びます。輸送距離が短いため、鮮度が落ちやすい葉物野菜などを新鮮なうちに、かつ輸送コストを抑えて市場へ届けることができます。茨城県はこの形態の代表例であり、首都圏の台所を支える重要な食料供給基地となっています。一方、高冷地農業は標高の高い場所で涼しい気候を利用する形態、促成栽培や抑制栽培は出荷時期をずらす工夫を指します。
問8	答え 1 輸出：半導体等製造装置、輸入：医薬品	成田国際空港は、高付加価値で軽量の製品を扱う航空貿易の拠点です。輸出では日本の高い技術力を背景とした半導体等製造装置が、輸入では緊急性や厳格な品質管理が求められる医薬品が、それぞれ品目別の割合で1位となっています。自動車や原油などの重厚長大な品目は、主に船舶によって輸送されます。
問9	答え 1 東京港	日本の主要港の中で、輸入額が輸出額を大幅に上回るのが東京港の顕著な特徴です。中京工業地帯を背後に持ち、自動車輸出が盛んで輸出超過となる名古屋港とは対照的に、東京港は巨大な消費地である首都圏に直結しているため、海外で生産された生活関連用品が大量に運び込まれます。